

技術・家庭科

技術・家庭科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
基礎的な知識・技能を身に付けて、生活の課題を解決する力を付ける。	よりよい生活や持続可能な社会に向けて、工夫し創造する力を付ける。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味・関心や、家庭生活の中での体験の差が大きく、理解したり作業したりするのに時間がかかる。ア</li> <li>作品づくりの中での工夫や創造が苦手な生徒が多い。イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活に結びついた具体的な事例をあげる。実物や写真など視覚的な教具を多く使い、完成するまでの作業時間の確保を図る。ア</li> <li>木工作品の製作で、自己表現ができる題材を取り上げる。また、新たな工具や機械を使って製作できることを知らせる。イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通年</li> <li>5月～2月</li> </ul>	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲や基本的な技能に差がある。ア</li> <li>作品の説明書を読み取るのに時間がかかる。その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な内容を反復させ、定着を図る。</li> <li>実物見本を用意して説明する。個別指導を行う。ア</li> <li>専門用語は、分かりやすく具体的に説明する。その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月～2月</li> <li>通年</li> </ul>	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎を生かした応用課題になると苦手とする生徒が多い。ア</li> <li>実習課題で自ら進んで工夫することが苦手な生徒が多い。イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリント学習で、基礎の定着から応用課題への反復を行う。ア</li> <li>簡単な応用例を示し、アイデアを引き出せるような助言をする。イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通年</li> <li>7月～2月</li> </ul>	

<p><b>■「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について</b></p> <p>1年 インターネットを活用した情報の収集と整理</p> <p>2年 インターネットを活用した情報の収集と整理</p> <p>3年 双方向性のあるプログラミングの習得</p>	<p><b>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</b></p> <p>1年 学習の振り返りシートの活用やワークシートの記入。</p> <p>2年 学習の振り返りシートの活用や学習ノートの記入。</p> <p>3年 学習の振り返りシートの活用や学習ノートの記入。</p>
---	--